

# Bangladesh の HIES による親同居・不在世帯の児童の状況

法政大学 菅幹雄

法政大学大学院 川崎暁子

## 1. はじめに

Bangladesh では出稼ぎが盛んに行われている。出稼ぎによる仕送り (remittance) が所得分布に与える影響を Bangladesh の家計調査 (Household Income and Expenditure Survey: HIES) のマイクロデータを用いて分析したのが Roy(2014)である。本研究では Roy から Bangladesh の 2000 年及び 2005 年の HIES マイクロデータの提供を受け、出稼ぎが与える経済・社会的な影響をより詳細に分析した。本研究で注目したのは、出稼ぎ等による親の不在が子どもに与える影響である。ちなみに Bangladesh の家計調査は「1.世帯」、「2.住居」、「3.教育」、「4.健康」、「5.経済活動と賃金雇用」、「6.非農業企業」、「7.農業企業」、「8.その他の所得と資産」、「9.消費」の 9 分野をカバーしている。

## 2. 出稼ぎ等による親の不在

アジア各国では、出稼ぎ労働に伴う親の不在が子どもの教育や健康に与える影響について、マイクロデータを用いた研究が盛んに行われている。親の出稼ぎによる留守家族への仕送りが子どもの福祉を改善するというポジティブな評価の一方で、親によるケアの不在が子どもにネガティブな影響を与えるという評価もある。Kuhn(2006)は Bangladesh について、親の出稼ぎが子どもの進級ペースを改善させるとしたが、次項で述べるように進級ペースではなく就学状況を見る必要がある。

## 3. 子どもの就学への影響

HIES2000 のマイクロデータからは、子どもの就学状況・進級ペース・欠席日数・欠席理由に加え、父/母が同じ世帯で暮らしているか否かも分かる。そこで、親同居/不在別に就学率を算出したところ、以下の結果となった。親の不在は子どもの就学にネガティブな影響を与えている。一方、進級ペース・欠席日数・欠席理由の分布に大きな違いは見られなかった。

子ども(6-15歳)の就学率(%)				
両親同居	父不在・母同居	父同居・母不在	両親不在	すべて
72.94	65.91	54.06	39.98	70.64

HIES2000より算出

## 4. 同居/不在のさらなる分類

より詳細な分析のために、世帯属性をさらに分類する必要がある。つまり、拡大/核家族の別・国外/国内仕送りの有無・父/母の婚姻関係を考慮する必要がある。また子どもが別の世帯に住み込みで働いている場合もある。これらを踏まえ、子どもの教育および健康への影響を分析した結果を報告する。

## 参考文献

- Kuhn, Randall(2006) "The Effects of Fathers' and Siblings' Migration on Children's Pace of Schooling in Rural Bangladesh," *Asian Population Studies*, Vol.2, No.1, pp.69-92
- Roy, Dipankar(2014) "Micro-Level Study of the Effects of Remittances on Inequality and Poverty: The Case of Bangladesh," in Denzo Kamiya, Yoshiro Matsuda and Mikio Suga eds. *Income Distribution in Asian Regions: Socioeconomic Analyses Based on Micro Data since the Second Half of the 20th Century*, Japan Statistical Association, pp.221-55